

公共施設

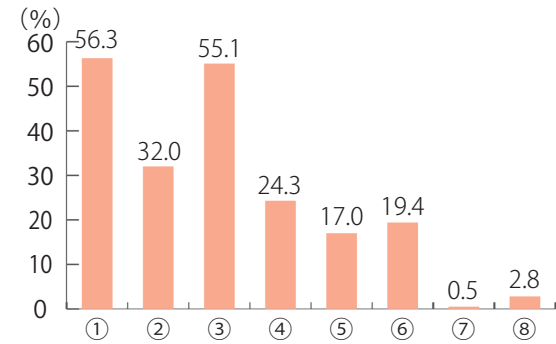
「学校再編計画」を知っている人が5割以上

公共施設の最適化に向けた市の取り組みで知っている項目については、「学校再編計画」が56.3%と5割を超え、次いで「片浜小学校の利活用」が55.1%となりました。19.4%の人が「知らない」と回答しています。

【公共施設の最適化とは】

日本では、昭和40～50年代における高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一斉に作り直さなければいけない時期を迎えます。しかし、人口や経済構造が変化の中で、すべての公共施設を維持・更新していくことは財政的に難しくなるため、市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

問「公共施設の最適化」に対応するための取り組みで、知っているものは？



①学校再編計画、②保育施設民営化、③片浜小学校の利活用、④老朽化施設の取り壊し、⑤消防団詰所の統廃合、⑥知らない、⑦その他、⑧無回答

令和4年度 市民意識調査結果

市では、市の取り組みに対する皆さんの満足度や重要度などを確認するため、「市民意識調査」を実施しています。令和4年度からは、インターネットによる回答を導入し、回答者の約3割が利用しました。本年度の結果について、一部抜粋して掲載します。詳細は、市ホームページなどで公表しています。結果については、今後の取り組みに反映していきます。

問い合わせ 秘書政策課 大石雅之 ☎0052

市ホームページは、右のQRコードを読み取るか検索してください。

牧之原市 市民意識調査 検索



— 調査の概要 —

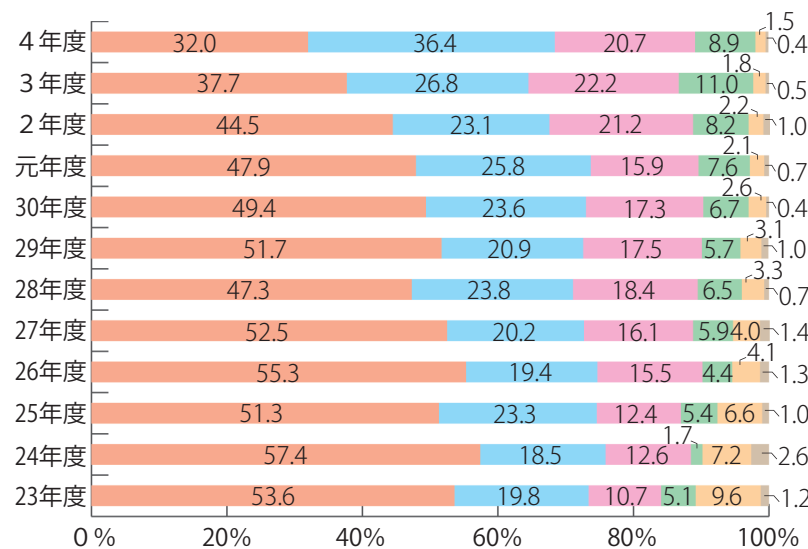
調査対象：市内在住(市内に住民票のある人)の16歳以上の男女
 調査方法：無作為抽出による郵送配布・回収
 調査期間：4月28日(金)～5月12日(金)
 発送数：1,398通
 有効回収数：749件(郵送：532件、インターネット：217件)
 有効回収率：53.6%(郵送：38.1%、インターネット：15.5%)
 *端数処理の都合上、また、複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

原発

「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が最多

浜岡原子力発電所の今後については「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が36.4%を占める結果となりました。次いで「停止しておいたほうがよい」が32.0%、「どちらともいえない」が20.7%、「わからない」が8.9%となりました。

問 浜岡原子力発電所の今後についてどう思うか？



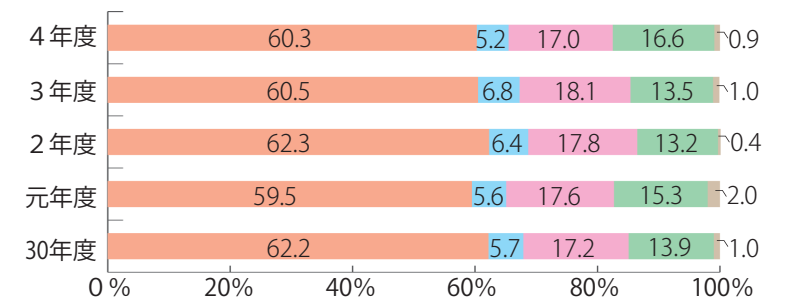
■ 停止しておいたほうがよい ■ 安全が確認できれば稼働したほうがよい
 ■ どちらともいえない ■ わからない ■ その他 ■ 無回答

居住

約6割の人が「今後も住み続けたい」

今住んでいる場所に「住み続けたい」という回答は約6割となりました。「他の場所に移りたい」と答えた人の理由としては、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約5割となり、最も高い結果となっています。

問 今後も住み続けたいか？



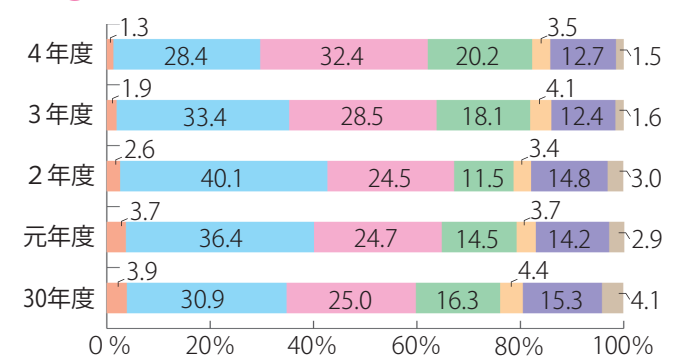
■ 住み続けたい ■ 市内の他の場所へ移りたい ■ 市外に移りたい ■ わからない ■ 無回答

子育て

「医療機関の充実に取り組むべき」が約6割

「牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か？」との問いに対し、「大いに思う」と「ある程度思う」の合計が約3割でした。子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきこととして、「小児科や産婦人科など医療機関の充実」が約6割となり、最も高くなっています。

問 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か？



■ 大いに思う ■ ある程度思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ わからない ■ 無回答

問 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきことは？

①小児科や産婦人科などの医療機関の充実 (59.5%)、②子育てに関する経済的支援の充実 (43.7%)、③親子で遊べる施設や公園の整備 (42.7%)、④一時的に子どもを預かる施設 (32.0%)、⑤地震・津波など災害対策 (19.8%)、⑥教育・文化水準の向上 (17.2%)、⑦地域で子どもを育てる意識の向上 (12.8%)、⑧悩みごとを話せる相談窓口の充実 (11.7%)、⑨子育てについての積極的な情報提供 (8.3%)、⑩家族や地域が育児に参加することの啓発 (4.7%)、⑪その他 (1.6%)、⑫無回答 (2.7%)

第2次総合計画における市の行政サービス「市の取り組みに対する満足度について」

第2次総合計画(平成27年度～令和4年度)における市の取り組みに対する満足度は、策定当初と比べ、ほぼすべての部門において上昇しています。

しかし、産業や生活基盤の部門では、全体的に満足度が低い状況にあるため、令和5年度から始まる第3次総合計画で、改善に向けた取り組みを進めていきます。

この調査は、今後も引き続き行っていくので、ご協力をお願いします。

各部門の満足度の推移

	健康福祉	教育文化	産業経済	生活基盤	防災	市政経営
平成27年度	0.03	0.02	-0.65	-0.29	-0.1	-0.07
令和4年度	0.15	0.01	-0.41	-0.14	0.14	0.07

*各部門における満足度を平均した数値

【評価点の算出方法】 *無回答は回答数に含めない
 ▶満足+2点 ▶やや満足+1点 ▶やや不満-1点 ▶不満-2点